

同時発表
東北地方整備局
宮城県

平成23年5月26日
国土交通省河川局
国土地理院

宮城県沿岸部における地震に伴う地盤沈下について

東北地方太平洋沖地震に伴う地殻変動により、宮城県の沿岸部では広範な地盤沈下が発生しています。

また、津波により、堤防等の施設が破壊され、高潮等に対する安全性が著しく低下していることから、航空レーザ計測等^{※1}により得られたデータより、宮城県沿岸の地盤高を把握し、海面との高さの関係を整理しましたのでお知らせします。

地震後にはこれらの地域において、海拔0m^{※2}以下、大潮の満潮位^{※3}以下、過去最高潮位^{※4}以下の面積^{※5}が増加しており、それぞれ、56 km²、129 km²、216 km²となっています。

	地震後	地震後増加した割合 (推定値) ^{※6}
海拔0m以下の面積 (T.P. ±0m)	56 km ²	3.4 倍
大潮の満潮位以下の面積 (T.P. +0.7m)	129 km ²	1.9 倍
過去最高潮位以下の面積 (T.P. +1.6m)	216 km ²	1.4 倍

※1 一部現地測量等の成果を使用して補正

※2 東京湾平均海面(T.P.±0m)

※3 朔望平均満潮位: 新月および満月の日から5日以内に現れる各月の最高満潮面の平均値。ここでは T.P.+0.7m

※4 T.P.+1.58m (観測所: 仙台新港験潮所 1980~2010の統計)を T.P.+1.6mとして算出

※5 面積は、国土地理院発表の津波到達範囲(浸水範囲)内のみを計測。小数点第一位を四捨五入

※6 上記津波到達範囲(浸水範囲)内で、かつ地震前後の航空レーザ計測結果がある地域より計算

※ 同様の発表を、東北地方整備局、宮城県より宮城県政記者会、東北電力記者クラブ、東北専門記者会に対し実施しております。

<問い合わせ先>

○国土交通省河川局河川計画課河川情報企画室 Tel03-5253-8446(直通)
課長補佐 中村 圭吾 (Tel03-5253-8111(代表) 内線 35375)